

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	吹田市立こども発達支援センター（わかたけ園）			
○保護者評価実施期間	2026年1月8日 ～ 2026年 1月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 1月13日 ～ 2026年 1月23日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	20
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画に基づいて、生活や保育の中にもセラピストが入り子どもたちの療育を総合的に展開している	保育職 OT PT ST 心理職と連携してチームを作り活動してきた	立案活動からかかわって、チームで作成していく
2	親子通園施設であること	わが子理解と愛着形成を目指し、保護者と一緒に療育の目標を立てすすめてきた 保護者の様子を日ごろから注視し、様子によってはすぐに懇談等話す機会を持ってきた	親子で通園することの良さを最大限活かして、タイムリーに子どもの姿を職員、保護者と共通理解していく 療育を保護者と確認しながら、すすめていく 保護者同士の交流をすすめていく

3	子供の活動スペースが十分に確保され、生活空間は心地よく過ごせる環境になっている	季節に合った装飾をしたり、遊び緒空間を確保するよう片付け等も意識している 感染症が流行しないよう、清掃や消毒等にも配慮している	安全対策や感染症対策のスキルアップのために引き続き、研修を積み重ねていく
---	---	--	--------------------------------------

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園からのマニュアルの周知や避難訓練等の実施について	マニュアルについては、見えるところに置いてはいるが、保護者に認識されていない マニュアルを訓練等を通して実際にわかるように実施していない 避難訓練等は療育時間内に実施する計画が少ない	マニュアルについては目につきやすいところに置き、保護者に発信していくことと合わせて、実際に対応策として保護者にもわかるように訓練やシミュレーションを実施していく 療育時間内に避難訓練を企画、実施していく
2	地域との交流	地域の子どもたちとの交流が園児の子どもたちの体調や感染リスク等の不安がありすすみにくさがある 園内での交流の難しさがある	センターの近くの園との交流から始めるなどできることから企画していく 園内でできる交流の仕方も考えていく
3			